

市制100周年～110周年 10年の歩み

西暦	平成	主なできごと
1989	元	市民憲章、市の木(柳)・花(チューリップ)制定 西総合スポーツセンターオープン 89新潟食と緑の博覧会開催 新潟まつり大民謡流し万代橋・碓谷小路で実現 5代目(現在の)市役所完成
1990	2	大畑少年センターオープン マリニピア日本海オープン
1991	3	ウラジオストク市と姉妹都市提携 新潟 イルクーツク定期航空路開設 上越新幹線東京駅乗り入れ 万代市民会館オープン
1992	4	バルセロナオリンピック卓球競技アジア大陸予選開催 第1回にいがた冬・食の陣
1993	5	第1回にいがた冬・食の陣開催 新潟 ウラジオストク定期航空路開設 NEXT21オープン 市福祉公社設立 異常気象による農作物被害が戦後最大に 第11回新潟マラソン大会市街地コースで実現 平成大橋完成
1994	6	新潟テルサオープン 市公会堂56年の歴史に幕 新潟市第四次総合計画策定 市埋蔵文化財センターオープン 市庭球場オープン 北地区スポーツセンターオープン 青山斎場完成 天寿園オープン
1996	8	新潟空港2500m滑走路供用開始 佐瀧ラムサル条約登録湿地に認定 「中核市新潟」スタート エコプラザオープン 新潟空港旅客ターミナルビルオープン O-157猛威を振るう ヘルパー365日24時間体制に 2002年W杯サッカー新潟開催が決定
1997	9	ナホトカ号重油流出事故 新潟焼却場完成 ごみ6分別全市でスタート 西新潟市民会館オープン 燕喜館オープン 磐越自動車道全線開通 北陸自動車道全線開通
1998	10	新潟 上海 西安定期航空路開設 東・西保健所を統合して市保健所発足 こども創作活動館オープン 海辺の森キャンプ場オープン 白山公園ポンプ場供用開始 新潟 ハルビン定期航空路開設 新潟 グアム定期航空路開設 全国都市緑化にいがたフェア開催 観測史上最大の豪雨。大規模な水害に 毒物混入事件発生 東総合スポーツセンターオープン リゅーとびあオープン 新潟 ホノルル定期航空路開設
1999	11	総合福祉会館オープン 太夫浜球技場オープン



万代橋で実現した大民謡流し



マリニピア日本海



第1回にいがた冬・食の陣



市公会堂

市街地コースが実現した新潟マラソン



ラムサル条約登録湿地・佐瀧



「中核市新潟」スタート



拡がる高速交通網(新潟中央IC)



世界への玄関口(新潟空港)



リゅーとびあ(市民芸術文化会館)

新潟市

110年の移り変わり

古町十字路

市内一の繁華街・古町には、ショッピングに、飲食にと昼夜を問わず、たくさんの方が訪れます。またアーケードが架かる古町モールの内は、さながら、都会のオアシス、ベンチやテーブルなどが置かれ、時を告げるオルゴールの音色が心を和ませています。(右:昭和初期)



新潟駅前



新潟駅が現在の場所になったのは昭和33年のことでした。以来、駅周辺は時代の流れとともに変貌。多くの通勤・通学の人が乗降し、交通量も増大しました。そして、あたりはビルが立ち並び一大オフィス街となっています。(左=昭和30年代)

本町通り

新潟の台所と呼ばれ、新鮮な食材や花などの露店が並び本町市場。安くて豊富な品ぞろえだけでなく、店のおばちゃんとの掛け合いも楽しみのひとつです。この市場には昔と変わらぬ人情味があふれています。(左=大正時代)



新潟港(西港)



安政5年、通商条約により指定された五港のひとつ新潟港は、日本海側を代表する拠点港として、対岸諸国との交易の玄関口となっています。新潟西港と東港では、今日も国内外の大小さまざまな船が入出港を繰り返しています。(左下=明治末期)

西堀通り

かつて新潟のシンボルであった堀。現在は道路として生まれ変わり、通りの名前に当時の名残をとどめています。そのひとつ、西堀通りにあった4代目の市役所庁舎跡地には、平成5年にNEXT21がオープン。新しい市のシンボルとして人々が集う場となっています。(右下:昭和30年代)



私たちのまち「新潟」は、明治22年に市制を施行して以来、大正、昭和、平成と時代を重ねてきました。110年の歳月の間に、さまざまな出来事が起こり、本市の街並みも移り変わりました。昔の面影を残す街角、すっかり変貌を遂げた街並み。新潟市の歩み・移り変わりを写真を通して振り返ってみましょう。いつも見慣れた風景が、また違ったものに見えるかもしれません。

市制100周年 までの歩み

西暦	年号	主なできごと
1868	明治元	安政5年(1854)により新潟港開港
1869	2	新潟運上所開設(後に新潟税関と改称)
1880	13	新潟大火(6,175戸焼失)
1886	19	初代萬代橋完成
1888	21	新潟川開きが始まる
1889	22	市制施行(人口43,911人、面積12.22km ²) 関屋村を合併 初代小倉幸光市長就任 新潟区役所が初代市役所に(明治41年焼失)
1896	29	横田切れ
1897	30	沼垂-ノ木戸(三条市)間に鉄道が開通
1904	37	新潟駅開業
1908	41	2度の大火に見舞われる(3,320戸焼失)
1909	42	2代目萬代橋完成
1910	43	上水道が完成
1911	44	2代目市役所完成(昭和8年焼失)
1914	3	沼垂町を合併(人口91,604人)
1917	6	曾川切れ
1923	12	白山山総合運動場オープン
1929	昭和4	3代目(現在の)万代橋完成
1931	6	昭和橋完成 上越線開通(東京まで7時間10分)
1938	13	市公会堂完成(新津恒吉氏寄付)
1944	17	3代目市役所完成(昭和30年焼失)
1943	18	大形村、石山村、鳥屋野村を合併(人口191,663人)
1947	22	民選初代村田三郎市長就任
1951	26	倉津八一・沢田敬義・萩野久作氏が名誉市民に 泰平橋完成
1953	28	下水道工事着工
1954	29	松ヶ崎浜村、濁川村、南浜村、坂井輪村を合併(人口262,002人)
1955	30	市政だより全世帯配布開始 新潟大火(中心部25万m ² 焼失) 東堀の埋め立てが始まる
1957	32	両川村、曾野木村、大江山村を合併(人口295,225人)
1958	33	4代目市役所完成 現在の場所に新潟駅完成
1959	34	北朝鮮帰還支援事務所設置(第1次975人が新潟港を出港)
1960	35	内野町を合併(人口319,815人)
1961	36	中野小原村、赤塚村を合併(人口326,632人)
1962	37	八千代橋完成 西堀の埋め立てが始まる
1964	39	第19回国民体育大会春季大会開催 新潟地震発生(マグニチュード7.5) 浜浜橋完成
1965	40	ガルベストン市、ハバロフスク市と姉妹都市提携
1967	42	新潟港が特定重要港湾に指定 開港100周年復興記念新潟大博覧会開催 上越線全線複線化
1968	43	スポーツと音楽都市宣言
1969	44	市歌・市民歌制定 第1回市美術展開催 新潟東港開港 関屋分水路完成
1972	47	新潟-ハバロフスク定期航空路開設
1973	48	園芸センターオープン
1976	51	西堀ローサオープン
1977	52	音楽文化会館オープン
1979	54	新潟-ソウル定期航空路開設 ハルビン市と友好都市提携 新潟国際友好会館オープン
1981	56	青少年三川自然の森オープン
1982	57	上越新幹線開業 本川大橋完成
1983	58	鳥屋野総合体育館完成 新幹線開通記念83新潟博覧会開催
1985	60	テレピアモデル都市に指定 上越新幹線上野駅乗り入れ ブラーカオープン 千歳大橋完成 開越自動車道全線開通 市美術館オープン
1986	61	第1回日本海夕日コンサート開催
1987	62	市産業振興センターオープン
1988	63	インテリジェントシティ、郵トピア、国際コンベンションシティに指定 第9回アジア卓球選手権大会開催